

## トンネル貫通式

3月7日(土)、南三陸道路2・3号トンネルの貫通式が現地(志津川字新井田地内)で行われました。式では町長や志津川小学校の児童代表らが発破ボタンを押して貫通させたあと、万歳三唱をして完成を喜びました。この貫通式をもって、南三陸道路で計画されている4つのトンネルすべてが貫通し、供用へ向けてまた一歩前進しました。



## 地方卸売市場起工式

3月4日(水)、南三陸町地方卸売市場の起工式が執り行われました。来年3月の完成を見込んでいる新しい地方卸売市場は、荷さばき場を壁で囲んだ閉鎖型で鳥の侵入を防ぎ、岸壁にも屋根をかけて日射を遮るなど、水揚げされる水産物の一歩進んだ衛生管理ができる施設となっています。町の基幹産業でもある水産業の再生は復興の歩みを力強いものとするでしょう。

## わたす 日本橋

3月3日(火)、東京都中央区日本橋に南三陸町をはじめとする東北の被災地を応援する情報発信・交流を目的とした施設「わたす日本橋」がオープンしました。この施設は三井不動産株式会社が開設したもので、3階の建物のうち、1階から2階は飲食と情報発信のフロアで「わたすランチ」など地元の旬の食材を使用した料理が楽しめます。3階は交流のフロアとなっており、志津川中学校の教室と施設をTV会議システムで接続した学習支援が実施されるほか、南三陸町との交流をはじめとした復興関連イベント・ワークショップの実施、地元の食関連事業者を招いた消費者との交流イベントや、語り部による講演等、日本橋との相互交流活動が実施されていく予定です。



## ありがとう

3月15日(日)、ベイサイドアリーナにおいて南三陸ボランティア感謝のつどいが開催されました。東日本大震災発生から現在にいたるまで、災害ボランティアの窓口として活動を続けてきた災害ボランティアセンターが撤去されることを前に、支援をいただいたボランティアの方々に感謝の気持ちを伝える式典として開かれたもので、約1400人が参加しました。式典では町長による感謝の辞や有志の町民による感謝の歌が披露されました。式終了後も会場の外で鍋物やおにぎりが振る舞われ、支援をしてくださったボランティアの方々に感謝の気持ちを伝えました。災害ボランティアセンターは撤去されますが、新たにボランティアの方と町民の架け橋となる「南三陸応援団」が開設され、新たな交流が生まれようとしています。



## きらり！えん旅

3月11日(水)から13日(金)までの3日間、歌手の森山良子さんが震災で大きな被害を受けた東北を励まそうと市町村を訪ねる「きらり！えん旅」で町を訪れました。「えん旅」の「えん」には、応援の「援」、出会った人たちの「縁」、人々が輪でつながる「円」、旅の締めくくりの旅人によるステージでの公「演」などさまざまな意味が込められています。町のふるさと自慢を訪ね歩いた最終日には、ベイサイドアリーナにおいて森山良子さんのミニ・コンサートが開催されました。番組は4月15日(水)の午後7時30分から7時59分までNHKのBSプレミアムで放送予定ですので、皆さんお楽しみに！



## 世界一大きな絵2020

3月6日(金)、戸倉小学校の生徒が作成した「世界一大きな絵2020」の完成記念撮影会が行われました。「世界一大きな絵」は特定非営利活動法人アース・アイデンティティ・プロジェクトが推進する国際的なプロジェクトです。世界の子どもたちが描いたキャンバス地が一つに縫い合わされて世界一大きな絵となり、2020年の東京オリンピックで披露されます。この事業に宮城県から20の小学校が参加することとなり、南三陸地区からは戸倉小学校が参加することとなりました。戸倉小から連想される言葉を児童から募集して決定された「笑顔」という言葉と、全校児童が自分の手にポスターカラーを付け描いた5メートル四方の大きな七色の虹の絵が完成しました。

